

日本内視鏡外科学会アンケート調査にご協力いただいた

泌尿器科医の皆様へ

「根治的前立腺全摘除術後に発生する鼠径ヘルニアの 実態と予防に関する現状調査」について

はじめに

鳥取大学医学部附属病院泌尿器科では「根治的前立腺全摘除術後に発生する鼠径ヘルニアの実態と予防に関する現状調査」という後ろ向き研究を行う予定です。これまで前立腺全摘除術後に鼠径ヘルニアが発生しやすくなることが明らかになっていますが、その手術中の予防方法については、十分な見解が得られていません。そこで、日本内視鏡外科学会で泌尿器科医を対象に実施された Web アンケート調査結果を利用し、鼠径ヘルニア発生頻度・危険因子の認識、採用されている術中予防手技の現状を把握することを主な目的とし本研究を実施します。この研究は鳥取大学医学部倫理審査委員会の承認を経て、医学部長の承認を受けています。詳細は以下のとおりです。

1. 研究概要および利用目的・方法

本研究では、2024 年 7 月に日本内視鏡外科学会学会員に向けて実施された Web アンケート調査結果を二次利用して、泌尿器科医の前立腺全摘除術後の鼠径ヘルニア予防法の臨床実態を把握するとともに、文献的な考察を行うことを目的とした調査を実施します。

すべての情報は、鳥取大学医学部附属病院泌尿器科で集計されます。また、情報は、研究責任者が責任を持って保管、管理します。

本研究の対象となる方は、他の研究対象者への個人情報保護や本研究の独創性の確保に支障がない範囲で、研究計画書及び研究の方法についての資料を入手又は閲覧することができます。希望される方は、遠慮なく問合せ窓口にお申し出ください。

2. 取り扱う情報

上記アンケート結果情報から以下の項目を集めさせていただきます。

- ① 医師の経験年数
- ② 前立腺全摘除術の経験症例数（執刀医として）
- ③ 所属施設の種類
- ④ 所有している資格
- ⑤ 根治的前立腺全摘除術の方法
- ⑥ 根治的前立腺全摘除術の実施は術後鼠径ヘルニアと関係があると思うか

- ⑦ 根治的前立腺全摘除術において認識している解剖用語について
- ⑧ 根治的前立腺全摘除術後の鼠経ヘルニア発症の経験（％）
- ⑨ 根治的前立腺全摘除術の際に、内鼠経輪付近で精管を切断するか
- ⑩ 術後鼠経ヘルニア予防を根治的前立腺全摘除術の際に行うか
- ⑪ 設問⑩で、「b.一部の症例で行う」を選択された場合、どのような症例に行うか
- ⑫ 設問⑩で、「a.全例にするあるいは、b.一部の症例で行う」を選択された場合、術後鼠経ヘルニア予防として何を実施するか
- ⑬ 根治的前立腺全摘除術のインフォームド Consent 用紙に術後鼠経ヘルニア発生の可能性について記載しているか
- ⑭ 尿道ヘルニア修復術後の患者様に根治的前立腺全摘除術を行う際に困難とを感じるか

3. 研究期間

この研究は、鳥取大学医学部長が研究の実施を許可した日から 2026 年 3 月 31 日まで行う予定です。

4. 個人情報保護の方法

患者さんの情報は、責任者が責任を持って保管、管理します。本研究では無記名アンケートを対象としているため、匿名化された情報を使用します。個人情報の管理については十分に注意を払います。

5. 研究への情報提供による利益・不利益

利 益・・・本研究に参加することによる研究対象者個人への直接的な利益はありませんが、研究の成果は、将来の前立腺全摘除術後鼠経ヘルニア発生率の減少へつながり利益となる可能性があります。なお、情報を使用させていただいた方への謝礼等もありません。

不利益・・・既にご回答いただいたアンケートからの情報収集のみであるため、特にありません。

6. この研究終了後の情報の取り扱いについて

今回、集めさせていただく情報が医学の発展に伴い、他の病気の診断や治療に新たな重要な情報をもたらす可能性があります。このため、これらの情報は、この研究終了後も保存させていただき、他の研究に使用させていただくことがあります。その場合は、新たに研究計画をたてて研究に参加する医療機関の倫理審査委員会での審査を経て、他の研究に使用させていただきます。

情報は、当該研究の終了について報告された日から 5 年を経過した日又は当該研究の結果の最終の公表について報告された日から 3 年を経過した日のいずれか遅い日までの期間保存します。保存期間終了後は、個人を特定できない状態にして適切に廃棄します。

7. 研究への情報使用の取り止めについて

本研究では無記名アンケートの回答結果を用いるため、個人を特定することが難しく、いただいた情報を個別に削除することはできません。

8. 当該臨床研究に係る資金源について

本研究は、鳥取大学医学部附属病院泌尿器科の研究費で行っており、特定の企業・団体等からの支援を受けて行われるものではなく、利益相反状態にはありません。

9. 研究成果の公表について

研究成果が学術目的のために論文や学会で公表されることがありますが、その場合も、個人が特定される情報は全て削除して公表します。情報の秘密は厳重に守られますので、第三者に個人情報明らかにすることはありません。

10. 知的財産権の帰属について

本研究の結果、特許などの知的財産が生じる可能性もございますが、その権利は鳥取大学に帰属し、あなたには帰属しません。

11. 問い合わせ窓口

本研究についてのご質問など、この研究に関することは、下記の窓口までお問い合わせ下さい。

【研究責任者】

森實修一 鳥取大学医学部器官制御外科学講座腎泌尿器学分野 准教授

〒683-850 鳥取県米子市西町 86

電話番号 0859-38-6607（内線：6607）

FAX 番号 0859-38-6609

＊この研究に関する情報は、鳥取大学医学部附属病院のホームページに掲載しております。

（<https://www2.hosp.med.tottori-u.ac.jp/departments/center/amirt/2115/3186/3294/>）